

城山エコミュージアム通信

2011. 12. 20 第10号

ホームページ <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kyouiku/20856/index.html>



エコミュージアムとは、エコロジー（生態学）とミュージアム（博物館）の造語で、その地域そのものが、生きた貴重な資料であるという考え方の下に、地域の歴史や文化、自然、について学び、地域への愛着を深め、交流を深めていく活動です。

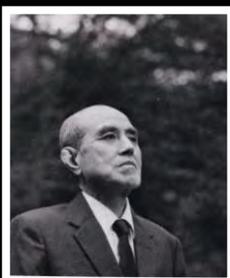


「ちょっと昔の写真展」開催！

今年は“人の一生にかかわる写真”を中心に



同窓生同士で懐かしむ場面も



同時に地域の写真家で貴重な記録写真を残していただいた八木蔦雨さんの作品も展示し、好評をいただきました

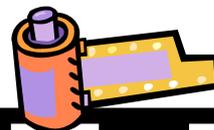


11月2日(水)、3日(祝・木)の2日間にわたり、城山公民館第2会議室にて、昔と今を結ぶ写真展が開催されました。

昔の写真部会では、平成17年に戦後60年・城山町政50年を記念し、昔の写真収集を始めました。今では1,200枚を超える写真を収集しています。

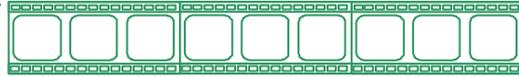
その1,200枚を超える中から、今回はテーマを「なつかしい情景～地域の風習～」とし、人生儀礼や年中行事など民俗分野に絞り、“人の一生にかかわる写真”を中心とした展示となりました。例年より“人物の写真”が多いのが印象的でした。2日間でのべ484人のご来場を頂き、来場された皆さんは、それぞれの“ちょっと昔”を懐かしんでいました。

なお、昔の写真部会では引き続き昔の写真を集めています。お心当たりのある方は、事務局までご連絡ください。





写真展から



孫の子守
子守りはおばあさんや、年長の子どもの仕事でした



お友達がたくさんできた幼稚園
子どもから大人まで人気だった写真



川尻小学校学芸会
同窓生と名前を思い出しながら語りました



私の仔ヤギ
昔はヤギも家族でした



話題にあがった写真を紹介



たいまつを跨ぎ、台所から入る花嫁
水火も辞せず、風雨にめげずの意で、ミノ、カサ、タイマツで花嫁を迎える



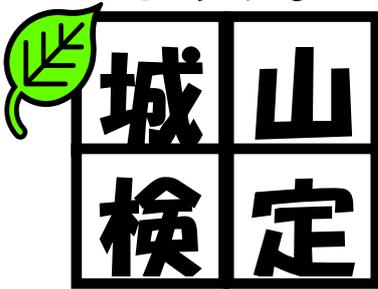
米寿の祝い
88歳を迎えてめでたい

このほか、季節ごとの行事である冬至のゆず湯、端午の節句の菖蒲湯、どんど焼き、運動会などの写真の人気がありました。時代が違っても続いている風習や、既に見られなくなってしまった風習など、写真を通して確認できます。写真に写っている方ご本人が写真展にいらしてください、当時の様子をお話されるなど、一枚の写真から色々な方々の人生が広がります。



結婚式は嫁いだ家で行われた
この写真を見ると、新郎新婦の横は父親、その外側は仲人さんがいる

知ってナットク!
しろやま



第2問



【問題】これは一歳の誕生祝にこどもに一升餅を背負わせた写真ですが、親の願いとしてここ旧城山町に伝わる説のひとつは？

- ① かわいい子には旅をさせよと食糧を入れた荷を背負わせた
- ② 成長して家から遠くに行かないようにと荷を背負わせた
- ③ 来る秋の豊作を願って背負わせた

正解は②

人それぞれの思いがあり全てが正解といっても良いかもしれませんが、下に挙げた資料によりますと正解は②となります。一升餅を背負わせて歩かせないようにしたり、わざと転ばせたりしました。親の眼の届くところに子供をおいておきたかったようですね。戦前の数え年の時代には正月に誕生祝をすることもあったようです。他にも、一升米などを背負わせた地域があったり、一生食べるものに困らないようにという願いもあったようです。



一緒に、地域の自然に親しみませんか？ メンバー募集中！

自然の活動がいよいよスタート♪

城山エコミュージアムは、ワークショップ形式で各部会ごとに活動しています。

この度、自然に関係する部会が発足し、9月10日に第1回のワークショップを開催しました。今後、小松のほたるの里前にある「城山自然の家※」を拠点に定期的（月例）にワークショップを開催する予定です。

現在は月に一度日曜日の午前中に開催し、現地調査をかねて前半は場所を決めて季節の地域を散策しながら自然観察・情報収集、後半は参加者の日ごろ活動していること・興味があることについての発表・情報交換や活動についての打合せをおこなっています。



宝沢を観察した第2回ワークショップ

地域の自然資源を観察・情報収集しました

今後の活動内容としては、①自然環境教室・講演開催（動植物や星空の観察会、環境学習講座など）、②自然体験講座開催（自然物を使った工作、農作業・郷土料理体験など）、③自然環境調査（動植物の定点観察など）、④自然環境に関する資料収集・整理・保管（絶滅危惧動植物の写真収集など）、⑤自然部会として気軽に自然を親しむことができるツアーの開催、⑥城山自然の家における展示の企画などが候補に挙がっています。まだまだ始まったばかりのこの部会。自然を愛する方、このような活動に興味をお持ちの方はぜひ、自然部会のワークショップに参加してみてください。お問い合わせは、お気軽に事務局まで。



※ 旧城山町時代に策定された「城山町ミュージアム基本計画」では自然系のサテライトの候補とされました。



現代版

いっしょうもち 一升餅の風習

さて、現代でも一升餅のお祝いはされているようです。「お餅を背負わせたら、あまりの重さに転んで泣いてしまったけれど、その後バースディケーキを食べられたので、ご機嫌でした」という話。

「お餅はどうしたの？」と聞くと「インターネットで注文して、宅配便で届けてもらえた」とか。共働きの若夫婦には便利そうですね。若い人なりに昔ながらの伝統行事を行いたいという気持ちがある事とインターネット注文といういかにも現代的な調達方法が、ミックスされていて面白いと思いました。



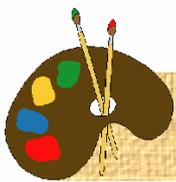
餅は2種類あり、紅白セットを選びました



いざ、踏み餅に挑戦…！

転んじやったよ





城山探訪

冬のしろやま見どころ紹介 シモバシラの不思議



氷景・本沢にて
(新井完夫氏 2006年頃12月下旬撮影)

冬になると地面の水が凍ってできる霜柱ですが、こちらは野草の話です。その名もシモバシラ。シソ科の植物で秋に可憐な白い花を咲かせます。なぜ、シモバシラと呼ばれるのでしょうか。

城山地区でシモバシラをお庭で育てている井上さんに話を伺いました。「一株いただいたのがきっかけで、10年近くでたくさんに増えました。シモバシラの魅力は、花もきれいで可愛く、冬には茎が割れたところから氷が溶け出してできる霜柱を見ることができるところです。冬といっても12月の初旬に終わってしまいます。気温が零下になり、息が白くなる早朝に

見られます。暖かい日差しが出てくるとすぐに消えてしまうので、せいぜい午前9時頃までです」。一度、霜柱ができると茎が破裂してしまうので、一年に一度だけ、早起きしないと見逃してしまう、貴重な現象なのですね。昔は近所の山にも生えていたそうですが、現在では高尾山でも少なくなっているようです。若葉台への都井沢トンネル近くの斜面では、自生しているものを保護しています。



若葉台ジグザグの自生地にて
(塩谷弘道氏 2010年12月撮影)

Information

満員御礼のツアーが万を期してふたたび開催！

鎌倉みち起点から相模野台地を歩く ～村境に点在する謎のスポット～

開催日：平成24年 2月26日(日) 午前9時～午後4時

予備日：平成24年3月1日(日)

集合場所：城山総合事務所入口ピロティ

持ち物：昼食、雨具、筆記用具、レジャーシート 参加費：300円(当日朝集金)

今年10月に開催を予定し荒天のため中止となりました今年度エコミュージアムツアー。

参加者からのご要望も多かったため再度開催します。

あらたな申込も受け付けておりますので、お気軽どうぞ。お申込は下記までご連絡ください。



一緒に活動しませんか？

城山エコミュージアムを育てる会のメンバーは、それぞれの興味にあわせボランティアで活動しています。

高校生以上の方ならどなたでも参加可能！まずは見学してみませんか？詳しくは右記まで。ご連絡をお待ちしています。

企画/作成：城山エコミュージアムを育てる会

発行：相模原市教育委員会 生涯学習課 城山教育班

問い合わせ：TEL：042-783-8184【直通】

FAX：042-782-1290

この通信のバックナンバーは、ホームページ(パソコン)からもダウンロードできます。携帯でも活動内容をご覧いただけます。

